



笠間市立笠間小学校
 学校だより「時習館」
 令和7年6月25日（水）
 第8号

子どもたちを、SNSの闇から守る

～メディア教育講習会を実施しました～

6月24日（火）、メディア教育講習会を実施しました。低・中・高の3ブロックごとに、茨城県メディア教育指導員の方からお話を聞きました。

現代の子どもたちは、ゲームやパソコン、携帯電話などの電子機器を日々の生活で利用しています。そして、インターネットを介して、様々な情報を収集し学習や生活に役立てております。しかし、情報の中には、不正確・不適切な情報も散見されるところです。また、SNSの利用は、ユーザー同士がつながり合い、多様な情報交換をするなかで生活を豊かにするものも多くありますが、その一方で、情報漏洩や人間関係のトラブル、性犯罪につながるような問題事案もテレビや新聞等で数多く報告されております。

子どもたちを、SNSの被害者にも加害者にもしないためには、まず子どもたち自身が、正しい知識をもち、安全に利用することが大切です。また、学校や保護者を含む周囲の大人達も、子どもたちが安全に利用しているかどうか見守り、必要に応じて相談に乗り、適切な指導やアドバイスをしていくことが重要です。



※指導員の先生からのお話をいくつかご紹介します。

- ・インターネットの世界は1つです。
 (ネット上の情報は、全世界に配信されています。例：笠間小のHPは全世界が閲覧可能。)
- ・IDは名前、Passはカギのようなもの。
 (どんなに仲良しでもパスワードは絶対に教えない。家族でも勝手に使わない。規則を破ると重い処罰を受けることがある)
- ・ゲームには、年齢制限があるものがある。
 (自分の年齢にあったものを選ぶことが大切。ゲームする時間や内容は家の人との約束のもとで！)
- ・メディアバランスが大切です。「何を」、「いつ」、「どれくらい」を意識して！
 (小学生の睡眠時間は9時間程度必要。睡眠不足は脳の発達・成長にも悪い影響を及ぼす。)
- ・LINEなどで使われる言葉に注意したい。
 (「やばい」「おもしろくない」「かわいくない」などは、肯定にも否定にも使われる。文字の一人歩きで人間関係がこじれる原因にもなる。)
- ・SNSでは、自分の写真は絶対に送らない。
 (相手が送ってくれても送らない。相手の写真は、うそ〔別人〕の場合もよくある。送った写真を拡散されることも、悪用されることもある。一度送ったら完全回収は不可能。)
- ・SNSで、一緒に写っている友達の写真も同意なしには絶対に送らない。
 (バウンダリー〔境界線〕は一人一人異なるもの。)
- ・著作権には、十分注意する。
 (著作物を無許可でネット上に公開すると権利侵害となり、小学生でも高額な請求をされるケースがある。)
- ・いやなことには「NO!」、そして、「にげる」・「相談する」ことが大切
 (相談を受けたら、まず「相談してくれてありがとう!」の言葉を大切に。・・・魔法の言葉です)

